

ごあいさつ

本日はご来場いただきまして、誠にありがとうございます。開催にあたりましては、各方面の多大なるご支援をいただきました。特に、照明のシアタークリエイション様ならびに照明家の河野真衣様には、多大なるお世話になりました。厚く御礼申し上げます。さて、会場として長年お借りしてまいりました京華女子高校様から、本年より十文字高校様に会場を移しての第1回目。奇しくも1959年の初開催から61回目、「日韓友好TOKYOドラマフェスタ」という愛称をつけてから21回目。令和最初の私学大会、新しいスタートです。なお、特別枠（短編ショーケース）は、出場校決定の抽選にもれた学校がひと枠の＜時間・照明Q数・その他の制限＞を均等に分け、＜講評あり・一律表彰・楯なし＞で一気に上演しようという今年初の試み。他の14校は例年と同じ通常上演です。では、何かと心せく年末ではございますが、ここはひととき、ごゆっくりお楽しみください。（実行委員一同）

専門審査員

菊池准（演劇集団JOKO演出家）、オーハシヨースケ（TAICHI-KIKAKU・主宰）、岩田廣明（舞台監督）、松本有樹純（北区AKT STAGE 演出家・アクション講師・俳優）

生徒審査員

廣島青葉（下北沢成徳高等学校・高3）、角谷百香（女子聖学院高等学校・高2）、篠田唯（女子聖学院高等学校・高1）、八柳航太郎（拓殖大学第一高等学校・高2）、末安 真（日本大学鶴ヶ丘高等学校・高1）

協力

河野真衣（照明家）、（株）シアタークリエイション、鎌田英之

協力校

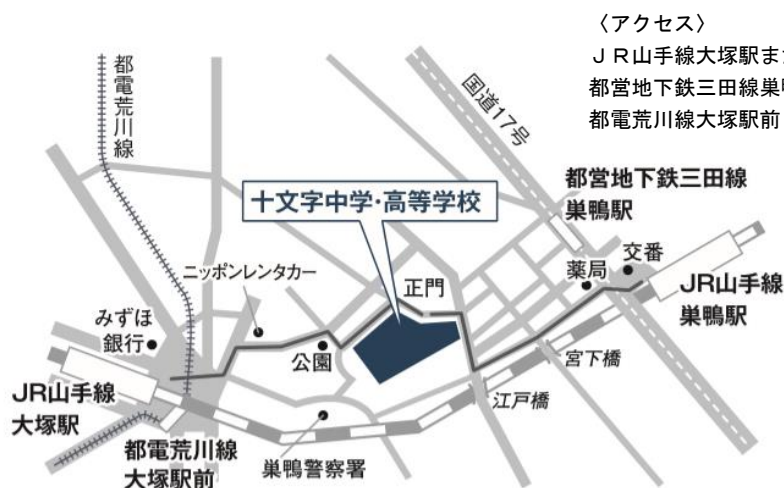
京華学園、獨協中学・高等学校、郁文館中高・グローバル高等学校

《お客さまへのお願い》多くのお客さまに気持ちよくごらんいただけますよう、どうかご協力ください。

※プログラムの時間は多少前後することがございます。30分は余裕をもってお越しください。

※上履きと靴袋を必ずご持参ください。

- ・写真撮影はご遠慮ください。
- ・主催者・該当校顧問から許可のないビデオ撮影はご遠慮ください。許可を得たビデオ撮影は客席後方の定められたスペースからのみとなります。事前に各校顧問とよくご相談ください。
- ・場内での飲食はできません。新館カフェテリアをご利用ください（利用可能時間：10:00～16:00）。
- ・ゴミは全てお持ち帰りください。



〈アクセス〉

J R山手線大塚駅または巣鴨駅 …徒歩5分

都営地下鉄三田線巣鴨駅 …徒歩5分

都電荒川線大塚駅前 …徒歩5分

会場

十文字中学高等学校講堂

入場無料

実行委員会連絡先

獨協中学・高等学校 柳本博

gekisa9@yahoo.co.jp

FAX: 03-3943-9119

日韓友好 TOKYO ドラマフェスタ VOL. 21

—第 61 回 東京私立中学高等学校演劇発表会—

◎＝生徒創作 ○＝顧問創作 ●＝既成作品 ☆＝戯曲集 @＝インターネット脚本

●12月27日(金) 開場 午前8時45分

- 1 順天中学高等学校 9:00～ 9:55
○池田皓 作 『悪い奴は独りで笑う』(55分)
- 2 日本音楽高等学校 10:10～10:40
◎演劇部 作 『仮族団欒』(30分)
- 3 文京学院大学女子中学校高等学校 10:55～11:45
◎野口優南 作 『Serment du Chevalier 彼らが捧げる忠義の証』(50分)
- 4 目白研心中学・高等学校 12:00～12:30
@フジカワミュウ 作 『童想会』(30分)
昼休み 12:30～12:55 (25分)
- 5 工学院大学附属中学・高等学校 12:55～13:40
○齋藤卓己 作 『正しいスキのつたえかた』(45分)
- 6 成蹊高等学校 13:55～14:45
○ミヤモトコウジ・◎演劇部 作 『やだもん』(50分)
- 7 日本大学第二高等学校【韓国上演予定作品】 15:00～15:50
○宇田川豪大 作 『金田一じゃないです』(50分)
- 8 【特別枠】短編ショーケース (30分×2) 16:05～17:05
淑徳巣鴨高等学校 ◎山田真耶 作 『悲しき女王』
獨協中学・高等学校
◎祝東京五輪まゆみ 作 『白か黒か～オセロ～だよ全員集合』
専門審査員講評 17:10～17:55

●12月28日(土) 開場 午前8時45分

- 1 駒場東邦高等学校 9:00～ 9:50
◎田尻美颯希 作 『幕開け』(50分)
- 2 吉祥女子中学・高等学校 10:05～10:55
宮沢賢治 作 ◎望月海希・大橋優菜 脚色 『銀河鉄道の夜』(50分)
- 3 関東第一高等学校 11:10～12:05
○川合智 作 『あしたのわたし』(55分)
昼休み 12:05～12:30 (25分)
- 4 聖徳学園中学・高等学校 12:30～13:25
○田辺由美子 作 『恋愛 R S L G』(55分)
- 5 十文字中学高等学校 13:40～14:10
@久遠真響 作 『神様、病み期始めました』(30分)
- 6 京華学園 14:25～15:20
●伊藤弘成 作 『ちょっと高校生』(55分)
- 7 城北中学・高等学校 15:35～16:20
OB 土屋圭亮 作 『いつでもDOOR』(45分)
生徒審査員講評 16:35～ 専門審査員講評 16:50～ 表彰式 17:25～18:10

2019年12月27日(金)～28日(土)

主催 一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

会場 十文字中学高等学校講堂

出場校からのメッセージ

◎=生徒 ○=顧問 ●既成作品 ☆=戯曲集 @=インターネット

●12月27日(金)

1 順天中学高等学校 ○池田皓 作 『悪い奴は独りで笑う』

順天中学高等学校演劇部は中1から高2までのメンバーで活動しています。
順天演劇部は各部員のキャラクターを活かした作品作りをしています。
それぞれが持っている面白さを最大限生かし、楽しい舞台にできるように日々稽古に励んでいます。
中学から高校までの全部員で気持ちを一つにして作品を作ります！よろしくお願いします！！

2 日本音楽高等学校 ◎演劇部 作 『仮族団欒』

とあるサイトで知り合った男女四人はトンデモな計画を立てていた。しかし、その計画を実行するには少しばかりの未練を抱えていた。その未練を消化する為にも、みんなで家族ごっこをすることに。ところがごっこ遊び中に酔っ払いが乱入してきてしまった！？酔っ払いに計画がバレないように、やむなく家族ごっこを続けるハメになって——！その場で会ったばかりの人間に家族同然の絆は生まれるのか。計画は無事実行できるのか。とくとか覧あれ！

3 文京学院大学女子中学校高等学校 ◎野口優南 作 『Serment du Chevalier 彼らが捧げる忠義の証』

剣術を極めるヴァレイド帝国・魔術を極めるエルクロス王国。それぞれの国に住む1人の少年と1人の少女は、お互いの夢を叶える約束を交わした。しかし年が経つにつれて対立していく2つの国。あの約束から5年。夢を叶えた2人が迎えるのは別れかそれとも幸せか。“それぞれの想い”を抱いた登場人物たちが描く“愛と絆の物語”。文京学院大学女子中学校高等学校、総勢27人で作り上げるミュージカル。ぜひ最後までご覧ください。

4 目白研心中学・高等学校 @フジカワミウ 作 『童想会』

ある一人の女性が、眠っている間に異次元の世界へと取り込まれてしまう。その世界にいたのは童話の英雄たちだった。そこで彼らは、別の童話の登場人物を助けるため「童想会」を立ち上げていた。なぜ、英雄たちは童話の登場人物を助けなければならないのか。「英雄」たちがもつ、知られざる心の葛藤に鋭いメスを入れる超社会派エンターテインメント。是非、お楽しみください！

5 工学院大学附属中学・高等学校 ○齋藤卓己 作 『正しいスキのつたえかた』

こんにちは！工学院大学附属中学高等学校演劇部です。私たちは今女子5人男子3人という少人数で活動しています。早速ですが皆さんアオハルしていますか？今回私たちが演じるのは高校生の王道で甘酸っぱい恋愛ではなく一周回って珍しい恋愛劇です。正しい恋の仕方、好きの伝え方は誰にもわからない……そんな高校生らしい葛藤を描いた物語です。配役、舞台美術、演出などを部員たちの意見をぶつけ合って創り上げました。ぜひご覧ください！

6 成蹊高等学校 ○ミヤモトコウジ・◎演劇部 作 『やだもん』

こんにちは成蹊高校演劇部です！
今回私たちは「やだもん」という作品を上演させていただきます。この作品は、顧問の先生方、先輩方に指導していただきながら、高校一年生が主体となって創り上げてきました。初めての等身大ではない役に最初は戸惑い、また思うように進められないこともありましたが、その都度意見を出し合い練習を重ねてきました。他愛もない日常の中で偶然出会った5人。そしてそれぞれの「変化」に注目していただけたら幸いです！

7 日本大学第二高等学校【韓国上演予定作品】 ○宇田川豪大 作 『金田一じゃないです』

この作品は、日本が誇る推理作家・横溝正史が生み出した魅力あるキャラクター、名探偵・金田一耕助（風）の男が主人公である。多くの金田一映画を監督した市川崑は、「金田一は決してヒーローじゃない。事件の傍観者なのだ」と言った。であるならば、「傍観者の物語」にしよう、と思った。そしてそれは、実に恐ろしい物語となった。この物語を、僕らは韓国で上演する予定だった。しかし、さまざまな事情で、残念ながら渡韓がかなわなくなってしまった。それでも僕らは、「芸術に国境はない」と信じ、演劇で手を繋ぎ合う限りない可能性に向かって、懸命に表現しようと思う。

8【特別枠】短編ショーケース

淑徳巣鴨高等学校 ◎山田真耶 作 『悲しき女王』

父を亡くした上に、その次の日に王を定める冠の儀式もと行わなければならないアマンダが主人公の物語です。彼女の周りにはいつも背中を押してくれるエライザと、政略結婚をもくろむアダムとリンダがいます。彼女の周囲で巻き起こる出来事は、次第にアマンダの心を歪めていき……。悲しき女王、アマンダの運命をどうぞご覧ください。

獨協中学・高等学校 ◎祝東京五輪まゆみ 作 『白か黒か～オセロ～だよ全員集合』

げえっ、なんだってえっ！あのオセロゲーム命名の由来がシェイクスピアの『オセロ』だったなんて！その事実すら知らず、白か黒か決めかねている優柔不断な僕たち。裏切りか表返りか。クリスマスかお正月か。歌うのか奪うのか。さらすのか、そそのめるのか。和食か洋食か。かかとか脇の下か。仁義なき戦いかアウトレিজか。リーチマイケルかレイザーラモンRGか。ビッグ・ウェストかグッド・ヴィレッジか。年末の風物詩は第九やガキ使だけじゃあらへんで。お待ちかね、獨協版シェイクスピア。今年もゲートイン。乞うご期待！

●12月28日(土)

1 駒場東邦高等学校 ◎田尻美颯希 作 『幕開け』

ある人が人生をマラソンに例えて話す。それを聞く少年の中には、人生にコースはないと笑い飛ばす少年と、その彼を生意気と嘲笑するもう1人の少年がいた。やりたいように生きるにはそれなりのリスクがいる。何でも出来そうで何にも出来なそう、冷たくても熱くて、真っ暗でまぶしい、自分たちの「今から」。その少年の背中を押すような劇。
少子高齢化の当同好会も、遂に団塊世代が引退し半分の10人に…。新体制で挑む最初の劇。先輩含め沢山の
人への感謝もこめて、いざ「幕開け」。

2 吉祥女子中学・高等学校 宮沢賢治 作 ◎望月海希・大橋優菜 脚色 『銀河鉄道の夜』

こんにちは、吉祥女子演劇クラブです。今回は「銀河鉄道の夜」を上演させていただきます。私たちには、このような有名な作品を扱ったことがなく、いわば初めての挑戦です。不安もありますが、同時にとても新鮮な気持ちで練習を進めています。残酷なまでに美しく美しい世界観の中に自分達らしさのある劇をお届けできるよう、精一杯演じさせていただきます。楽しんでいただけると幸いです。

3 関東第一高等学校 ○川合智 作 『あしたのわたし』

僕たちは明日が普通に続くと思っている。どんなに苦しいことがあっても、それでも明日は普通に来るんだと、それが当たり前なんだとずっと思っていた。けれどこの間、地区大会が終わって、当たり前前に続いていた毎日が続かなくなった。そのことに僕たちはびっくりした。今日と同じように明日は続かないんだあつて。僕たちは大人になれるのだろうか。そんなことを考えながら劇を創っています。

4 聖徳学園中学・高等学校 ○田辺由美子 作 『恋愛 R S L G』

こんにちは！聖徳学園演劇部です！みなさんは「恋愛ゲーム」と呼ばれるゲームを遊んだことはありますか？私は昔友達の家で1回だけやったところ、1人目でこっぴどく振られて以来触っていません。あの時の喪失感忘れ難いものです。さて、私達は「恋愛 RSLG」という劇を上演します。恋愛ゲームみたいな青春に憧れる主人公・・・果たしてそれは達成されるのか？！部員一同、2019年の集大成として精一杯頑張ります！

5 十文字中学高等学校 @久遠真響 作 『神様、病み期始めました』

ここは、天界。神様は魔法や特殊な能力を使って人々の願いを次々と叶えていく……。なんて、現実そんなに甘くない！！今日も神様たちはデスクワーク中です。「だあああああああああああ！！！！」「なに？君たちはこんな書類ばっかいじってて何とも思わないわけ？」そんな言葉を皮切りに話はそれにそって…。
6人の神様が奏でるドタバタ喜劇。そこから見つかる、ちょっと大切なコト。ちょっと新しい十文字はいかがですか？

6 京華学園 ●伊藤弘成 作 『ちょっと高校生』

みなさんこんにちは！京華学園演劇部です。今年度、十文字中学高等学校さんの素敵な舞台上で上演させていただけることを、大変嬉しく感じると同時に、感謝の気持ちでいっぱいです。今回、私たちが上演させていただく作品は「ちょっと高校生」です。高校生たちが抱えている不安や葛藤、そして人と人との温かいつながりをテーマにした作品です。一生懸命演じさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

7 城北中学・高等学校 OB 土屋圭亮 作 『いつでもDOOR』

皆さんはやり直したい過去がありますか？「ああすればよかった」、「あんなことしなければよかった」という思いは、誰しもが持っている気持ちでしょう。そんな過去をやり直せるとしたらどうします？成果が出ない物理研究室で、夢を追いかけるジミーと、クール(?)で優秀なバルス、その二人についていく不器用だけど憎めないニャン太の三人が送る、男子校ならではのドタバタストーリー。「いつでもDOOR」をぜひご覧ください。

『日韓友好 TOKYO ドラマフェスタのあゆみ』

2007年1月	ドンシン(東新)女子高校(全羅南道・光州市)	ソフォクレス『エレクトラ』
2008年1月	キョンファ(京花)女子高校(京畿道・廣州市)	キム・ジョンスク作『红柿がなる家』
2009年1月	ヨンドウンポ(永登浦)女子高校(ソウル特別市)	ハム・ヒョンシク作『約束』
2010年1月	クァンジュ(廣州)高校(京畿道・廣州市)	シン・ユンス作イ・ギボク脚色『エクスペンシヴ・アップル』
2011年1月	キョンファ(京花)女子イングリッシュビジネス高校(京畿道・廣州市)	キム・ジョンスク 作 イ・ギボク 脚色 『アカシアの花びらは落ちて』
2012年1月	ソンリン(善隣)インターネット高校(ソウル特別市)	イ・ヤング 作 『Between, the pages』
2013年1月	チョンジュ(全州)女子高校(全羅北道・全州市)	イ・ジヒョン 作 『RAINBOW BLOSSOM』

韓国の高校演劇とは、2007(平成19)年1月に光州市のドンシン(東新)女子高校の上演がこのTOKYOドラマフェスタで行われたことから関係が始まりました。これは、本大会の生みの親である故・内木文英先生(元・全国高校演劇連盟名誉会長)と、社団法人韓国演劇協会とのつながりがきっかけでした。韓国からの来日は2013年まで7年連続、我が国からの訪韓は2008年以来11年連続となり、日韓高校演劇の交流に役立ってまいりました。今年も本大会からの代表校として日本大学第二高校が8月の韓国全国大会にて上演すべく準備していた直前、日韓関係の悪化により中止の知らせが先方より届きました。今回は例年の凱旋公演ではなく、上演予定だった作品を披露していただきます。実行委員会としても、来年の東京五輪に合わせて再び韓国からも代表校を招こうと企画していた矢先でした。国際情勢は予断を許しませんが、日韓の青少年演劇を奨励すべく築き上げてきたこれまでの過程を未来につなげるため、今後も粘り強く進めていこうと考えております。皆様からもご支援のほどお願い申し上げます。(実行委員一同)